

がん患者・家族のための

福島県がんサポートブック



福島県
福島県がん診療連携協議会



本誌ご利用にあたって

この本はがんと診断を受けた患者さんやご家族の抱える様々な不安や想いに寄り添い、安心して自分らしく生活するための支えや助けとなることを目指してつくられました。

あなたが納得して人生を歩んでいくために、少しでもお力になれることを、心から願っています。

注) 社会福祉制度や相談窓口は、令和元年12月1日現在のものを記載しています。



キビタン©福島県



■	がん相談支援センターをご利用下さい	P 2		
■	がん相談支援センターの紹介			
	(1) 福島県立医科大学附属病院	P 4		
	(2) 太田西ノ内病院	P 5	■	治療をしながら働く方へ P 24
	(3) 総合南東北病院	P 6		
	(4) 坪井病院	P 7	■	社会資源の紹介
	(5) 白河厚生総合病院	P 8		(1) 働く人のための相談や支援 P 26
	(6) 会津中央病院	P 9		(2) 医療費等の負担軽減 P 28
	(7) 竹田総合病院	P 10		(3) 生活費を支援する制度 P 30
	(8) いわき市医療センター	P 11		(4) 生活が困窮した方への制度 P 31
	(9) 福島労災病院	P 12		(5) 在宅療養に関すること P 32
■	あなたは今どんな気持ちでいますか	P 13	■	支え合いの場を利用しよう
■	正しい情報を集めましょう	P 14		(患者会)
■	希少がんを調べる	P 15		ひいらぎの会 P 34
■	がんところ	P 16		ピンクのリボン／福島声友会 P 35
■	治療について	P 18		福声会／日本オストミー協会福島支部 P 36
■	緩和ケア	P 20		虹色リボンの会／さくらの会 P 37
■	AYA世代のがんについて	P 22		まんさくの会／がんの子どもを守る会 P 38
				ゆきうさぎ10西の会 P 39
				(患者サロン) P 40
				(患者支援団体) P 41
				コラム P 42
			■	福島県内の各機関
				協会けんぽ／年金事務所 P 43
				ハローワーク P 44

がん相談支援センターをご利用下さい

すべてのがん診療連携拠点病院には「がん相談支援センター」という相談窓口があります。「がん治療について知りたい」「今後の療養生活の事が心配」など患者さんやご家族からのがんに関わる質問や相談に医療ソーシャルワーカーや看護師等がお答えいたします。患者さんやご家族のほか地域の方どなたでも無料をご利用いただけます。



がんと言われて不安いっぱい。
これからどうしたらいいだろう。

治療の間の治療費・生活費は
どうなるんだろう…

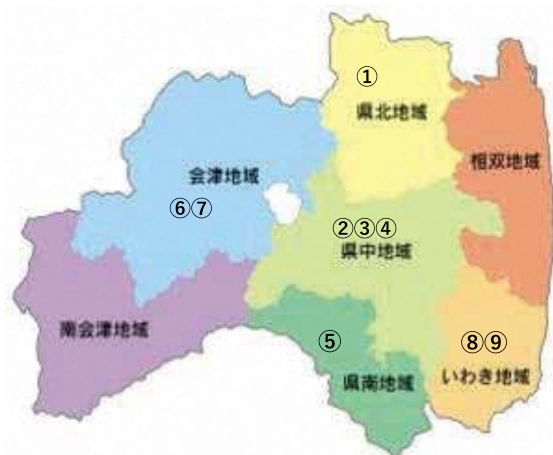
仕事をしながら
治療できるかな？

家族にどう伝えたら
いいの？

先生の説明が難しく、
頭の中の整理ができない

※ただし、がん相談支援センターは、主治医に代わって医療的判断をする場所ではありません。治療に関することは、病状をよく理解している担当医へまずはお相談下さい

がん診療連携拠点病院



- ①福島県立医科大学附属病院
- ②太田西ノ内病院
- ③総合南東北病院
- ④坪井病院
- ⑤白河厚生総合病院
- ⑥会津中央病院
- ⑦竹田総合病院
- ⑧いわき市医療センター
- ⑨福島労災病院

全国どこに住んでいても、がんの状態に応じて適切ながん医療が受けられるように、設置されている病院です。当県では、上記のように、9病院が指定されています。

これらの拠点病院では、

- ①専門的ながん診療
- ②専門的な知識や技能を持つ医師の配置
- ③地域の医療機関や医師との連携
- ④患者さんへの相談支援と情報提供
- ⑤がん登録など、質の高いがん医療をしています。

次頁より、各病院の概要について紹介いたします。

県内のがん診療連携拠点病院の紹介

(1) 福島県立医科大学附属病院

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	024-547-1088（直通） / 024-547-1089（直通）
受付時間	月～金曜日 8：30 ～ 17：00
担当職員	社会福祉士、看護師

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	1時間（記録時間含む） 33,000円
予約方法	詳細は、患者サポートセンター（TEL：024-547-1026）へお問い合わせ下さい。

患者サロンの案内

名称	ピアサポートサロンひかり
開催日時	毎月 第4金曜日 13：00～15：00（予約不要）

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	なし（痛みについては麻酔科外来で対応）
緩和ケア病棟	なし

その他

出張ハローワーク	毎週水曜日14：00 / 15：00開催（完全予約）
社会保険労務士	毎月第4木曜日13：00 / 14：00 / 15：00（完全予約）
仕事と治療の両立支援	随時応相談
がん哲学外来	奇数月指定日（完全予約）
がん登録検索システム	がん相談支援センターへ連絡をお願いします。
患者ラウンジ	がんに関する情報の展示や各種イベントを行っています

(2) 太田西ノ内病院

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	024-925-8833 (直通) / 024-925-8913 (直通)
受付時間	月～金曜日 8:30～17:00、土曜日 8:30～12:30
担当職員	ソーシャルワーカー (社会福祉士)

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	30分毎 5,500円 ※最大60分
予約方法	詳細は、地域医療連携室 (TEL: 024-925-8828) へお問い合わせください。

患者サロンの案内

名称	時間 (とき) の会
開催日時	毎月1回 14:00～15:00 ※日程は院内ポスターで掲示

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり (完全予約制)
緩和ケア病棟	なし

その他報告

出張ハローワーク	毎月第1木曜日 13:30～15:30 (完全予約)
仕事と治療の両立支援	随時応相談
がんサポート室	がんに関する無料冊子・図書閲覧、ケア用品展示等

(3) 総合南東北病院

がん相談支援センターの案内

TEL/FAX	024-934-5564 (直通) / 024-934-5323 (直通)
受付時間	月～土曜日 8:30 ～ 17:00
担当職員	社会福祉士

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	最大60分 22,000円
予約方法	詳細はがん相談支援センター、又は病診連携室 (Tel: 0120-60-5533) へお問い合わせください。

患者サロンの案内

名称 ①	がん患者・家族サロンほっと【ミニレクチャーあり】
開催日時 ①	毎月1回 水曜日又は木曜日 14:00～16:00 (予約不要)
名称 ②	がん患者・家族サロンほっと【参加型】
開催日時 ②	毎月 第2または第4金曜日 14:00～16:00 (予約不要)

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり
緩和ケア病棟	なし

その他報告

治療と仕事の両立支援	随時応相談
------------	-------

(4) 坪井病院

がん相談支援センターの案内

TEL/FAX	024-946-7630（直通）／なし
受付時間	月～金曜日8:30～17:00 土曜日8:30～13:00（第5除く）
担当職員	社会福祉士、看護師

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	60分 11,000円
予約方法	詳細は、地域医療連携室（Tel：024-937-4778）へお問合せ下さい

患者サロンの案内

名称	カフェあすなろ
開催日時	不定期開催（詳細は相談支援センターへお問い合わせ下さい）

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり（予約制）
緩和ケア病棟	あり（18床）

その他報告

出張ハローワーク	毎月第2木曜日 13:30 ～ 15:00
----------	-----------------------

(5) 白河厚生総合病院

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	0248-22-2211 / 0248-22-2322
受付時間	月～金曜日 8：30～17：00 第2・4・5土曜日 8：30～12：30
担当職員	社会福祉士、医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	1時間20,000円（税別）、30分延長の場合は5,000円加算。 1時間を原則とし1時間30分を限度
予約方法	地域医療連携室（TEL：0248-22-2262）へお問い合わせください。

患者サロンの案内

名称	がんピアサロン結い
開催日時	第4火曜日 14：00～16：00 （予約不要）

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり 毎週金曜日 13：30～ 完全予約制
緩和ケア病棟	なし

(6) 会津中央病院

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	0242-25-1592 / 0242-33-7101
受付時間	月～金曜日 第2・4・5土曜日 8:30 ～ 17:00
担当職員	社会福祉士、看護師

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	11,000円 / 1時間（記録時間含む）
予約方法	詳細は、がん相談支援センターへお問い合わせください

患者サロンの案内

名称	つなぐカフェ
開催日時	毎月 第2土曜 13:30 ～ 14:30 （予約不要）

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり（第2・第4 午前中）
緩和ケア病棟	なし

その他報告

図書スペース	病院地下に栄養指導室内にがんに関する図書の設置
--------	-------------------------

(7) 竹田綜合病院

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	0242-29-9832 / 0242-29-9803
受付時間	月～金曜日、第1・3・5土曜日 8:30 ～ 16:30
担当職員	社会福祉士、精神保健福祉士、看護師

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	5,500円 / 30分
予約方法	詳細は、地域医療連携課（Tel.0242-29-9832）へお問合せ下さい

患者サロンの案内

名称	あづまっぺ
開催日時	毎月 第4火曜日 14:00～

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	なし
緩和ケア病棟	あり

その他報告

からだ情報プラザ (患者図書室)	患者さんが利用する図書館です。看護師が常駐しており、必要な情報を聞いたり、相談したりもできます。
ウィッグ相談会	毎月 第2水曜日 10:00 ～ 12:00 専門業者による医療用かつらの相談会

(8) いわき市医療センター

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	0246-26-3117 (直通) / 0246-26-3184
受付時間	月曜～金曜 8:30 ～ 17:15
担当職員	社会福祉士

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金 / 時間	11,000円 / 30分
予約方法	患者サポートセンター地域医療連携 (0246-26-2250) へ 電話予約

患者サロンの案内

名称①	サポートサロンえん ミニ講演&茶話会 (全がん)
開催日時①	毎月 第3火曜日 13:30 ～ 15:00
名称②	おしゃべりサロン (乳がんピアサポートサロン)
開催日時②	毎月 第2水曜日 9:00 ～ 12:00

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり
緩和ケア病棟	あり

その他報告

サポートサロンえん 専門相談日	「食事と栄養の相談」・・・ 毎月第2木曜日 「お薬の相談」・・・ 毎月第3木曜日 「こころの相談」・・・ 毎月第4木曜日 完全予約制 原則当センター通院患者
--------------------	--

(9) 福島労災病院

がん相談支援センターの案内

TEL / FAX	0246-45-2251 (直通) / 0246-45-2252 (直通)
受付時間	月～金曜 8:15～17:00 (予約優先)
担当職員	社会福祉士

セカンドオピニオン

受診	完全予約制
料金	22,000円 / 1時間以内
予約方法	詳細は、当院ホームページをご確認いただくか、相談支援センター (0246-45-2251) へお問合せ下さい

患者サロンの案内

名称①	乳がん患者サロン
開催日時①	毎月 第4水曜日 13:30 ～ 14:30 (予約不要)
名称②	ピアサポートふわり
開催時間②	毎月 第3木曜日 13:00 ～ 15:00 (予約不要)

緩和ケアについて

緩和ケアチーム	あり
緩和ケア外来	あり
緩和ケア病棟	あり

その他報告

治療と就労のための 両立支援相談窓口	月～金曜日 8:15～12:15 (予約優先)
頭皮ケア・医療用 ウィッグ相談会	毎月 第1木曜日 13:00～15:00 (予約不要)

あなたはどんな気持ちでいますか

あなたががんと告げられたら

病名を告げられた時、大きな衝撃を受け、動揺するのも無理はありません。そんな時には、一人で抱え込まず、家族や親しい友人に相談してみましょう。気持ちが少し軽くなるかもしれません。

また、落ち込んでいるときに無理に病気と向き合おうとする必要はありません。音楽を聴いたり、絵をかいたり、自分らしくリラックスできることを行ってみましょう。

ご家族ががんと告げられたら

家族ががんと告げられた時、大きな衝撃を受けながらも、考えなくてはならないことが出てくるでしょう。ご本人ができるだけ安心して治療に臨めるよう、ご本人の気持ちに寄り添い、一步一步進んでいきましょう。

ただし、家族は大切な人のがんの闘病に大きな影響を受けるため「第二の患者」ともいわれています。闘病生活を長く支え続けるためには何よりも家族自身の健康が大切です。そして準備も覚悟もときには割り切りも必要です。



白河だるま（白河市）

正しい情報を集めましょう



納得のいく治療を受けるために、情報を集めて正しい知識を持つことは大切です。医療スタッフからの情報の他にも、がん関連の本や冊子、インターネットなどがあります。ただし、中には個人的な情報や広告等信頼性の低い情報も多くあります。集めた情報の信頼性については、主治医等医療者に必ず相談しましょう。

インターネット

- ① 国立がん研究センター がん情報サービス
<https://ganjoho.jp/public/index.html>



部位別のがんの解説や治療法、療養生活に関する情報や、「患者必携」などがんに関するさまざまな冊子・資料が入手できます。

- ② 日本対がん協会
<https://www.jcancer.jp/>



がんに関する基礎知識や各種のがん検診・無料相談窓口などの情報を提供しています。

書籍

◆患者必携 がんになったら手にとるガイド

◆患者必携 わたしの療養手帳

(入手方法)

- ・880円（税別）で書店より購入
- ・インターネットにて閲覧（無料）

http://ganjoho.jp/public/qa_links/



◆各種がんの情報

(入手方法)

- ・がん相談支援センターへ問い合わせ
- ・インターネットにて閲覧（無料）

http://ganjoho.jp/public/qa_links/



希少がんを調べる

診断されたがんが「まれ」ながん（希少がん）であり、病気のことや治療のことが詳しく分からないと医師から言われることもあります。その際は、下記の方法で情報をえることができます。

情報を探すとき



1. お電話での問合せ

- ①希少がんホットライン（国立がん研究センター）

電話：03-5343-5601 平日：9：00～16：00

- ②近隣のがん診療拠点病院

- ③施設別がん登録件数検索システム

（福島県立医科大学附属病院がん相談支援センター内）

電話：024-547-1088 平日：8：30～17：00

※「院内がん登録」のデータを基に、がん種別に一定の診療経験のある施設を探すことができます。

2. インターネットでの検索

- ①がん情報サービス

<https://ganjoho.jp/public/index.html>

→病院を探す <https://hospdb.ganjoho.jp/kyoten/>

- ②国立がん研究センター希少がんセンター

<https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/index.html>



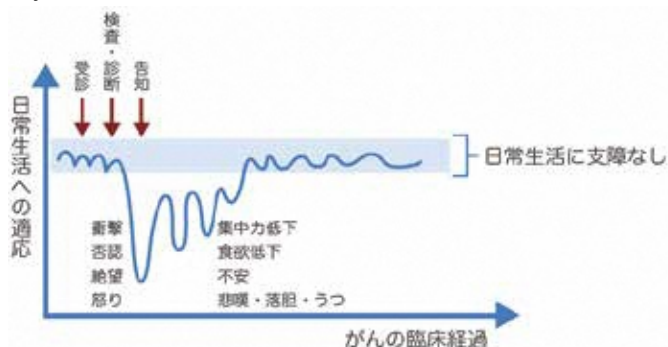
がんところろ

がんと告げられたとき、大きな衝撃を受けますが、誰にでも起こりうる自然なところろの動きです。

やがて時間の経過とともに少しずつ冷静に考えることができるようになり、治療に向き合うことができるようになります。これも自然なところろの流れです。

がんとところろと身体の反応

がんと告げられたとき、ところろと身体はどのように反応するのでしょうか。



出典 厚生労働省 e-ヘルスネット情報提供より

病院を受診し、検査を受け、がんと診断を受けられたとき、大きな衝撃と動揺、混乱が生じます。気持ちが不安定になり、何かの間違ひであると否認したり、集中力の低下などところろの症状が現れてきます。身体の症状としては、食欲がない、夜眠れないなどの症状が現れ、この症状が1～2週間程度続く方が多いという報告があります。その時期を過ぎると、少しずつ日常を取り戻していきます。

- 頭が痛い・重い
- 肩や首筋がひどく凝る
- 食欲がなくなる
- 息が詰まり、苦しい
- 動悸がする
- 血圧が高くなる
- 便秘や下痢になる
- 眠れない
- 何となく体がだるく、
疲れやすい



- 気分が憂うつだ
- 何をしても楽しめない
- やる気が出ない
- 物事に集中できない
- 怒りっぽくイライラする
- いつも緊張していて
リラックスできない
- そわそわして気持ちが
落ち着かない
- 考えたくないのに
嫌なことを考えてしまう
- 心配事が頭から離れない

- お酒の量が増える
- 過度にギャンブルに
のめりこむ
- 衝動買いが増える
- 食事を食べない
／食べ過ぎる

- 外出が減り引きこもる
- 習い事や趣味を
やりたがらない
- 会社を休みがちになる
- 横になってばかりいる

出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより（一部図を変更）

上の図は、日本サイコオンコロジー学会がまとめた、こころと身体の症状に関するチェック表です。該当するものが多い方は一度こころの治療について考えてみましょう。



猪苗代湖と磐梯山（猪苗代町）

治療について



まずはがんの状態を把握します

がんの治療を考える上でまず大切なことは、がんの状態を知ることです。そのためにさまざまな検査が行われます。検査の結果がでるまで時間がかかることがあります。治療の効果を得るためには重要なことです。担当医からの説明がある際には、記録をとり、理解を深めるように努めましょう。



治療法を検討する

診断結果をもとに治療の方針を決めていきます。多くのがんではがんの進行の程度を「病期（ステージ）」という言葉で示します。その他に、年齢や体調、他の病気がないかなど、総合的に判断して、最も効果が期待される治療を選択することとなります。

標準治療

標準治療と先進医療はよく比較されます。「先進」と「標準」という言葉を比べると、どうしても標準の方が劣っているように感じてしまいますが、標準治療というのは「現時点で最も効果が期待される優れた治療法」のことです。

がん治療においては診療ガイドラインにて、がんの種類や進行度合いによって推奨される治療法（推奨グレード）が決まっています。その推奨グレードで最も高いグレードAに当たるものが標準治療で、世界中の治験実績やデータを基に、最もお勧めできる治療です。

治験とは

日本で薬剤が保険適応になるには厚生労働省の承認が必要です。承認を得ることを目的とした臨床試験の事を治験と言います。臨床試験には開発段階があり、安全性や得られる効果が様々です。詳しくは担当医にご相談ください。

先進医療とは

厚生労働省が定める「評価療養」のひとつ。治療としては確立していても、保険診療として認められていない医療技術に対し、将来的に保険診療の対象とすべきか、検討される段階にある医療です。



ゲノム医療とは

ゲノム医療は、患者から採取した細胞を詳しく調べ、その結果をもとに、より効率的・効果的に病気の診断と治療を行うものです。

ゲノム医療を提供する中核拠点病院が平成30年2月に11か所選定され、東北地方では東北大学病院が指定されました。福島県では福島県立医科大学附属病院が、東北大学病院の連携病院として、同院協力の下、ゲノム医療に関する患者説明や検査を行う予定で準備を進めています。

詳しい内容を確認したい場合は、お近くのがん相談支援センターへお問合せ下さい。

緩和ケア



緩和ケアは、がんに罹られた患者さんやこころの痛み、苦しみ、つらさを和らげて少しでも楽に過ごせるよう、その人がその人らしく生活ができるようケアをします。がんと言われた時からいつでも緩和ケアを受けることができます。

県内の医療機関が緩和ケアを提供しています（次項）。受診の際は、事前予約が必要ですので詳細は各医療機関にお問い合わせください。

❖ がんの治療と緩和ケアの関係



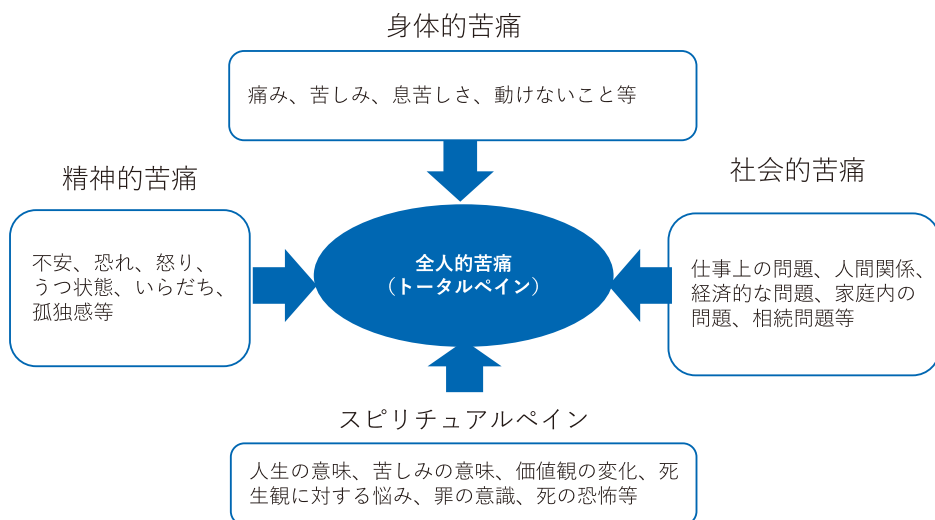
❖ これまでのがん医療の考え方



❖ 新しい考え方（包括的がん医療モデル）



❖ 全人的苦痛（トータルペイン）をもたらす要因

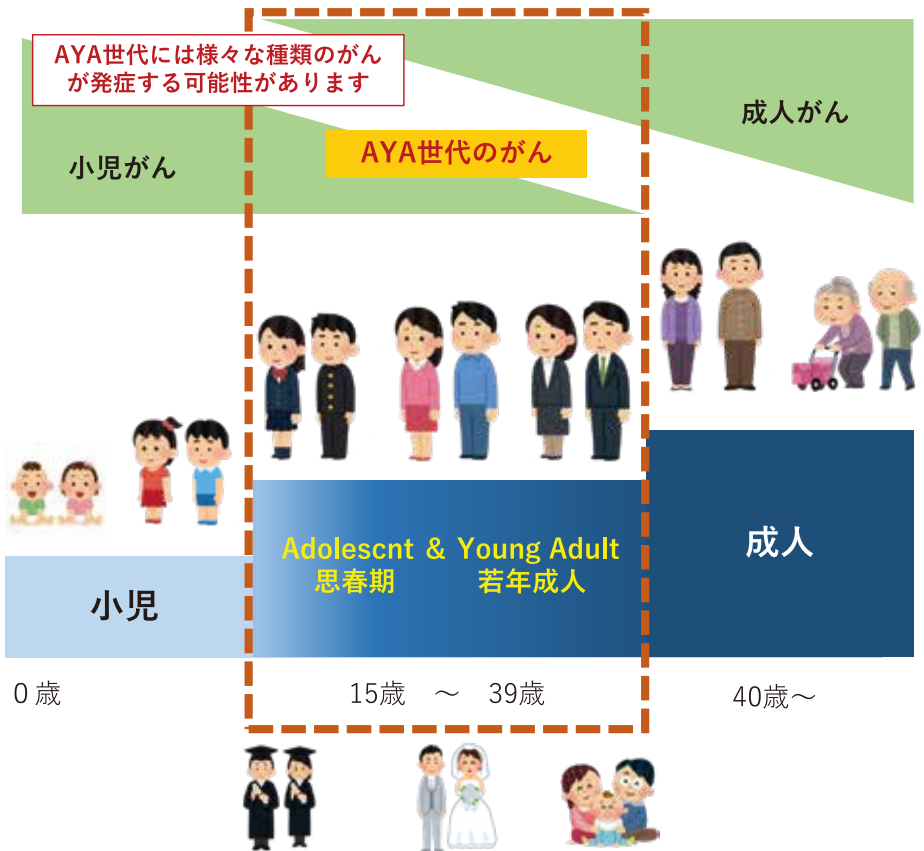


県内の緩和ケア外来・病棟を提供している病院一覧

医療機関名	所在地	電話番号	外来	病棟
福島県立医科大学附属病院	福島市光が丘1	024-547-1111	○	-
わたり病院	福島市渡利中江町3-4	024-521-2056	○	○
太田西ノ内病院	郡山市西ノ内2-5-20	024-925-1188	○	-
総合南東北病院	郡山市八山田7-115	024-934-5322	○	-
坪井病院	郡山市安積町長久保1-10-13	024-946-0808	○	○
星総合病院	郡山市向河原町159-1	024-983-5511	○	○
白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2-1	0248-22-2211	○	-
福島県立医科大学 会津医療センター	会津若松市河東町谷沢字前田21-2	0242-75-2100	○	○
会津中央病院	会津若松市鶴賀町1-1	0242-25-1515	○	-
竹田総合病院	会津若松市山鹿町3-27	0242-27-5511	○	○
いわき市医療センター	いわき市内郷御厩町久世原16	0246-26-3151	○	○
福島労災病院	いわき市内郷綴町沼尻3	0246-26-1111	○	○

AYA世代のがん

AYA（アヤ）世代とは、Adolescent & Young Adult（思春期・若年成人）のことをいい、15歳から39歳の患者さんにあてはまります。小児に好発するがんと成人に好発するがんがともに発症する可能性がある年代であり、肉腫など、AYA世代に多い特徴的ながんも存在します。患者さんは中学生から社会人、子育て世代とライフステージが大きく変化する年代であり、患者さん一人ひとりのニーズに合わせた支援が必要となってきます。



AYA世代の患者さんは、**就学、就職、結婚、出産、子育て**などの様々なライフイベントに直面し、一人ひとりが自分らしく過ごせるためのサポートが必要です、ご不安な点は、がん相談支援センターへご相談下さい。

(国立がん研究センター中央病院ホームページ AYA世代のがんについて より抜粋)

●AYA世代のがん患者さんが抱える問題

不安やストレス	病気や治療への不安、治療の副作用・外見の変化に伴うストレス、進路や結婚・出産等将来への不安、晩期合併症についての不安
家族の問題	親子・兄弟姉妹との関係
社会的問題	学校・友人との関係、仕事・職場の問題、経済的な悩み

●妊娠・出産(妊よう性)について

がんの治療では、薬物療法や放射線療法を行うことがあります。治療の影響で、妊娠のしやすさ(妊よう性)が低下したり、不妊になることがあります。最近では、妊孕性を温存するために、生殖補助技術を用いて女性は卵子あるいは卵巣組織を、男性では精子をがん治療に先立って冷凍保存する生殖医療の考えが広まりつつあります。

妊娠や出産に関する問題は、治療を決定する過程に大きな影響を与える場合もあります。お一人で悩まず、がん相談支援センター(P5~)へご相談ください。



くだもの狩り(福島市)



治療をしながら働く方へ

がんの診断後、様々な検査、治療と進んでいきますが、医療費の支払いにどの段階で話をするかなど、様々な疑問や不安が様々な段階で生じます。それぞれ

	診断初期	治療開始・入院
療養上の困難	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診断への疑問 ■ 療養場所の選択 ■ 住居・食物・金銭問題 ■ 雇用・学校の問題 ■ 文化・言語の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 治療の決定 ■ 介護者の有無 ■ 子供の世話の代行 ■ 妊娠 ■ 移手段の確保
支援に用いる社会資源	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公的制度・人的資源の調整・導入・連携 ■ 生活費・医療費の支援制度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度 ・ 障害年金 ・ 生活保護 ・ 高額療養費と医療費控除 ・ アスベスト救済※ ■ 生命保険やがん保険 ■ 適切な医療機関への受療援助 ■ 文化・言語圏の支援調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通訳 ・ 入国管理局・大使館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会資源・人的資源の調整・導入・連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度 ・ 児童相談所・子育てNET ・ 卵子・精子凍結保存 ・ 移送サービス ■ 副作用対策への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ カツラや補正下着などの情報提供と購入支援

の程度お金の準備が必要か、治療中の不安をどう解消するか、職場にどの段の段階で必要な相談にがん相談支援センターは対応しております。

退院・社会復帰	通院・再発期	終末期・死別
<ul style="list-style-type: none"> ■生活の再構築 ■社会復帰 ■介護負担 	<ul style="list-style-type: none"> ■診断への疑問 ■終わりの見えない治療 ■終わりの見えない医療費 ■治療の選択・理解 ■民間・代替療法への思い 	<ul style="list-style-type: none"> ■療養の場の移行 ■遺される家族の生活の問題
<ul style="list-style-type: none"> ■就労支援 ■社会資源・人的資源の調整・導入・連携 ※生活を支える社会資源 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険 ・地域包括支援センター ・配食サービス ・民生委員の訪問 ・身体障がい者手帳 ※医療資源 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション ・訪問診療 ・訪問リハビリ ほか ※保護的サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ■民間・代替療法への理解促進 ■臨床試験の理解促進 ■就学・就労継続支援、もしくは休学・退職のサポート ■移送手段の確保 ■家族の介護環境整備 ※介護休暇 ※ショートステイ・高齢者マンションの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■療養場所選定の支援 ■看取りに向けた支援 ■遺族の生活の再設計 ■遺族への悲嘆サポート

出典) 国立がんセンターがん対策情報センター教育研修システム

がん相談支援センター相談員研修「社会資源」スライド一部改訂

社会資源の紹介



(1)働く人のための相談や支援

がんになっても働きながら安心して治療を受けることができるように、円滑に職場復帰や就労継続できるよう相談できる窓口があります。

仕事をしながら仕事を継続／復帰したい

①社会保険労務士

職場復帰の際会社とどのように話したらよいか、又、休職や退職を考えるに当たって、どの様な社会保障が得られるかなど、労働条件や社会保険制度に関する専門家のアドバイスを得たいという方へ社会保険労務士の相談窓口があります。

福島県社会保険労務士会

TEL：024-535-4430

福島市御山字三本松19-3

②産業保健総合支援センター

両立支援促進員が事業場の産業医などと連携を図りながら職場復帰のための支援を行います。事業者と患者（社員）の間の仕事と治療の両立に関する調整、両立支援プラン・職場復帰支援プランの作成についての助言、支援を無料で行います。

福島産業保健総合支援センター

TEL：024-526-0526

福島市栄町6-6



治療しながら新しい仕事を探したい

ハローワーク

療養しながら就職を目指す方に対して個別の就職支援や求人の案内を行っています。ハローワーク福島やハローワーク郡山にはがんなどの長期療養者専門の相談員（就労支援ナビゲーター）が配置されています。

勤務先との労働問題について相談したい

総合労働相談コーナー

労働条件・労働に関する問題、募集採用、職場環境などあらゆる労働分野の相談・案内を行っています。

福島労働局総合労働相談コーナー

TEL：024-536-4600

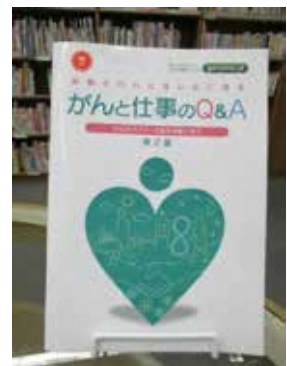
福島市霞町1-46

◆冊子

「がんと仕事のQ&A～がんサイバーの就労体験に学ぶ」

厚生労働省の「がんと就労」研究班が、働くがん患者さんが「直面した問題」「実践した工夫」「知りたかった情報」などについて、Q&A形式にまとめた冊子です。

ホームページ (<http://www.cancer-work.jp>) からダウンロードできます



がんと就労

検索

(2)医療費等の負担軽減



高額療養費制度

医療費や薬局の窓口で支払った医療費（食事代やベッド代を除く）が、1ヶ月間で自己負担限度額（所得や年齢により金額が異なります）を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。

また、あらかじめ加入している健康保険の保険者へ手続きを行うことで、医療機関の窓口の支払いを自己負担限度額までとする限度額適用認定という制度もあります。

不明な点等については相談員へお話しください。

◎自己負担限度額（69歳以下の方）

適用区分		ひと月の上限額（世帯ごと）	4回目以降
ア	年収約1,160万円～ 健保：標報83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円 + (総医療費 - 842,000) × 1%	140,100円
イ	年収約770万円～約1,160万円 健保：標報53万円～79万円 国保：旧ただし書き所得600万～901万円	167,400円 + (総医療費 - 558,000) × 1%	93,000円
ウ	年収約370万円～約770万円 健保：標報28万円～50万円 国保：旧ただし書き所得210万～600万円	80,100円 + (総医療費 - 267,000) × 1%	44,400円
エ	～年収約370万円 健保：標報26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円	44,400円
オ	住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

◎自己負担限度額（70歳以上の方）

適用区分		外来 (個人ごと)	ひと月の上限額（世帯ごと）	4回目以降
現役並	年収約1,160万円～ 標報83万円以上／課税所得690万円以上		252,600円 + (医療費 - 842,000) × 1%	140,100円
	年収約770万円～約1,160万円 標報53万円以上／課税所得380万円以上		167,400円 + (医療費 - 558,000) × 1%	93,000円
	年収約370万円～約770万円 標報28万円以上／課税所得145万円		80,100円 + (医療費 - 267,000) × 1%	44,400円
一般	年収156万円～約370万円 標報26万円以下／課税所得145万円未満等	18,000円 年間上限 14万4千円	57,600円	44,400円
非課税等 住民税	Ⅱ 住民税非課税世帯		24,600円	
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)	8,000円	15,000円	



高額医療・高額介護合算制度

世帯の1年間の医療費と介護費が高額になった場合、自己負担限度額（所得区分あり）を超えた金額が申請により戻ってきます。

問い合わせ先：市町村の介護保険担当窓口
加入している公的医療保険の窓口

石綿（アスベスト）健康被害救済制度

石綿による健康被害を受けた方、およびその遺族で労災補償等の対象とならない方へ対する救済を目的とした制度です。

問い合わせ先：独立行政法人環境再生保全機構
環境省地方環境事務所
保健所等

医療費控除

患者さん本人またはご家族が1年間（1月1日～12月31日）に一定以上の医療費を支払った場合、税金を軽減する制度です。医療費控除を受けるには、会社などの年末調整とは別に自分で確定申告する必要があります。医療費やおむつ等の領収書やレシートは必ず保管しておきましょう

<対象となる主なもの>

- ・医師または歯科医師による診療又は治療の費用
- ・おむつやストーマ装具の費用（医師の証明が必要）
- ・通院のためのバス、電車などの交通費（ガソリン代や駐車料金は除く）
- ・あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師による施術の費用
- ・医師などの診療を受けるために必要な松葉杖やコルセット・義歯等の費用などを遡って申請できる場合もありますので、詳しくは税務署へご相談ください。

(3)生活費を支援する制度



傷病手当金

会社員や公務員などが病気のために働くことができず、会社（事業主）から給与を受けられない場合に支給されます。標準報酬月額
の3分の2相当が最長1年6か月支給されます。（市町村を保険者とし
た国民健康保険には傷病手当はございません）

問い合わせ先：加入している公的医療保険の窓口

障害年金

病気などで重度の障害が残った方に年金を早くから支給する制度
です。人工肛門や人工膀胱を造設したり、喉頭部を摘出した方のほ
か日常生活や仕事に著しい制限を受ける状態になった場合に受給で
きる場合があります。

問い合わせ先： 「障害基礎年金」…市町村の国民年金担当窓口
「障害厚生年金」…年金事務所
「障害共済年金」…職場の共済組合事務所

身体障害者手帳

身体に障害が残った方の日常生活の不自由を補うために、さまざま
な助成・支援を受けられるようになる福祉手帳です。

問い合わせ先：各市町村障害福祉担当窓口

身体障害者手帳を所持している方は、等級にもよりますが、下記の
福祉サービス利用が検討できます。

- ◆重度心身障がい者（児）医療費助成制度
※身体障害者手帳：1級、2級、3級の一部の方が対象
- ◆補装具の交付・修理
- ◆公共料金の割引・減免
- ◆税金の減免

など

(4)生活が困窮した方への制度

生活福祉資金貸付制度

必要な資金を他から借り受ける事が困難な世帯（低所得者世帯）、身体障害者手帳・精神保健福祉手帳の交付を受けた者等の属する世帯（障害者世帯）、65歳以上の高齢者の属する世帯（高齢者世帯）を対象とした貸付制度です。

貸付資金の種類には、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金があります。

問い合わせ先：お住いの地域の市町村社会福祉協議会

生活保護

病気や身体の障害、失業など様々な要因により医療費が支払えない、生活が出来ないといった困窮の程度に応じて必要な保護を国が行います。

保護の内容により扶助が違います。扶助には生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助の8つがあり、要保護者の必要に応じて単給または併給として行われます。

保護は原則として申請によって行われます。本人や扶養義務者、同居の親族などが申請することが出来ます。

問い合わせ先：各市町村の相談窓口か各福祉事務所、民生委員



いわき市花火大会（いわき市）

(5)在宅療養に関すること

自宅は、安心した療養環境であり、誰もが住み慣れた環境で過ごしたいのではないのでしょうか。しかし、「病院で受けている治療を自宅で継続することは可能か」「家族に迷惑をかけるのではないか」等、ご不安もあるとおもいます。自宅でも、適切な医療や福祉サービスを受ける体制が整えられてきています。まずは、病院やがん相談支援センター窓口などでご相談ください。

訪問診療

医師がご自宅等へ訪問し、診療などを行います。患者さんやご家族の連絡を受け、訪問看護ステーションなどと連携を取りながら、安心して生活ができるよう、対応します。医療保険より給付されます。

訪問看護

看護師が医師の指示のもと自宅等へ訪問し、看護のケアを提供します。症状観察や薬の管理を行うほか、状況に応じて点滴の管理や痰吸引の指導、入浴介助も対応できます。24時間体制で、緊急時の相談にも応じれる事業所があります。介護保険または医療保険より給付されます。

地域包括支援センター

ご高齢者やそのご家族などの介護に関する様々な問題については、市町村が設置する「地域包括支援センター」が総合的な相談窓口となっています。専門の職員が関連組織と連携をして、介護をはじめ、健康、医療、福祉や生活に関する悩みや心配ごとなどの相談に応じます。

介護保険

40歳以上でがんの診断を受けた場合、「介護保険」のサービスを利用することができる場合があります。

ご自宅の環境整備から介助、又は施設入所の際に1～3割の負担でサービスが利用できます。自宅での生活に支障を感じる、又はご不安がある場合は、がん相談支援センター等へ気兼ねなくお伝えください。

❖ 介護保険サービスで利用できるサービスの一例



ご自宅で…



『具合を着に来てほしい』
『医療処置をお願いしたい』
＜訪問看護＞



『家事・介助をお願いしたい』
＜訪問介護（ヘルパー）＞



『医療用ベッドを借りたい』
『車いすを借りたい』
＜福祉用具購入・貸与＞



『リハビリを受けたい』
＜訪問リハビリテーション＞



『浴室が狭いが風呂に入りたい』
＜訪問入浴＞



『手すりをつけたい』
『段差をなくしたい』
＜住宅改修＞

又は…



『施設に入所して生活の援助を受けたい』
＜施設入所＞

他にも様々な介護サービスがございます。ご不明な点は、お近くの地域包括支援センターやがん相談支援センターへご確認ください。



布引高原（郡山市）

支えあいの場を利用しよう



患者会

がんになった患者さんやご家族が主体となって結成され、情報交換や勉強会、交流会等を通じ、がん患者さんやそのご家族、遺族の方の不安の解消や悩みを分かち合う活動をしています。

がんを考える会 ひいらぎの会

がん種／概要	全がん / 患者会
設立時期	1994年（平成6年）設立
会員数	50人以上
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ひいらぎサロン （がんピアネットふくしまに協力）・スマイルイン郡山・リレーフォーライフ参加協力・芋煮&ウォーク（11月）・うたごえ喫茶（福島市3回）・ひいらぎ通信発行（年6回）
問い合わせ先	担当者：鈴木 牧子（代表世話人） 連絡先：024-563-5665（TEL/FAX）
メッセージ	ひいらぎの会は、今年で25周年を迎えました。会員以外の方も参加できる楽しいイベントを今後も企画していきます。会員のみの交流希望は、ご入会をおすすめ致します。

患者会
ピンクのリボン

がん種／概要	乳がん／患者会
設立時期	2002年（平成14年）設立
会員数	49人以下
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会報発行（年3～4回） ・定期交流会 ・温泉ツアー（年1回） ・リレーフォーライフへの参加 ・ほっとサロン（3ヶ月に1回）
問い合わせ先	担当者：伊瀬妙子 連絡先：090-6254-4596
メッセージ	<p>ピンクのリボンでは治療をはじめとする心身のケアに役立つ情報や楽しく集える場を提供し、自らの将来が創造できる会を目指しています。患者は不本意ながらも罹患した自分を受け止めなければなりません。「これから自分はどうありたいのか、その為には何ができるのか」を一緒に考え、お互いにサポートし合うことが患者会の役割であると考えます。</p>

福島声友会

概要	咽頭摘出者／患者会
設立時期	1978年（昭和53年）設立
会員数	20人以下
活動内容	発声練習教室 市立内郷公民館 月3回（第2、3、4土曜日） 電気式人工咽頭（EL）発声練習 食道発声練習
問い合わせ先	担当者：福島声友会 会長 齋藤成一 連絡先：Tel 090-3756-5040 fax 0246-43-1085
メッセージ	<p>第二の声を取得する為に咽頭摘出術後の発声訓練を行っています。一度見学に来てみてはいかがでしょうか。ご連絡をお待ちします。</p>

福島県咽頭摘出者
福祉団体 福声会

がん種／概要	喉頭、咽頭、食道 / 患者会
設立時期	1979年（昭和54年）設立
会員数	49人以下
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発声訓練教室（福島市・郡山市） ・ 会報発行 ・ 指導者養成
問い合わせ先	担当者：郡司広美 連絡先：090-2228-5101 FAX：0247-78-3255
メッセージ	口頭摘出者の患者団体で毎月1回福島市と郡山市で発声教室を開催しています。第2の声を取り戻す教室です。

公益社団法人
日本オストミー協会福島県支部

がん種／概要	がん全般 / 患者会
設立時期	1970年（昭和45年）設立
会員数	50人以上
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会適応訓練講習会（県内9か所7月～11月 県委託事業） ・ 入浴体験研修会（一泊・年に1回10月） ・ 交流会（一泊・年2回、東北ブロック9月・県支部12月） ・ 相談会・定例会（福島・郡山・いわき）観桜会（福島） ・ 会報発行（年6回・本部会報と同封発送） ・ 全国大会・県支部定期大会の開催 ・ 外出時・災害時・老後の3つの不安解消取組み
問い合わせ先	担当者：菅野成義 連絡先：024-557-2802（TEL・FAX兼用）
メッセージ	人工肛門・人工膀胱を保有している患者会です。体験者とお話をし、専門看護師さんのアドバイスやメーカーさんによるストーマ装具の展示もあり、研修会や相談会に是非お出掛け下さい。

虹色りぼんの会

がん種／概要	乳がん / 患者会
設立時期	2008年（平成20年）設立
会員数	50人以上
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・6月には患者さんだけで集まり、物を作ったり、旅行に行ったりしています。昼食会、会費（参加費） ・10月には先生の話の聞いたり、講演会をしたり、リハビリ体操して（中央病院内）、夜には、交流会（先生も交えて）会費（参加費）
問い合わせ先	担当者：会津中央病院 内分泌科外来 連絡先：0242-25-1712
メッセージ	<p>病気に対する知識の共有や現在の治療法に対する理解や情報提供を行っていくことで、患者さんの質を高めています。</p> <p>交流会などの活動を通じて会員間の親睦を図る事を目的にして活動しています。ガンになるとショックを受ける方がほとんどですが、会に入り同じ気持ちを共有できて、はげましあって、元気になる方が沢山いらっしゃいます。</p>

わくわくの会

がん種／概要	骨・軟部肉腫 / 患者・家族・遺族会
設立時期	2010年（平成22年）設立
会員数	50名以上
活動内容	<p>福島県立医科大学附属病院で骨・軟部肉腫の治療を行われた患者様とそのご家族の交流と情報交換を行う</p> <p>開催：年2回（3月、9月） ※参加費用あり 開催場所：福島県立医科大学内</p>
問い合わせ先	事務局：福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター 連絡先：024-547-1088（直通）
メッセージ	<p>体験を語り合い、自身の立場での悩みや不安、辛い気持ちを共有しています。医療者も参加し、診療に対して再考する機会になっています。今後も、治療に対するモチベーションの維持、グリーフケアに努めてまいります。</p>

まんさくの会

がん種／概要	人工肛門・人工膀胱／患者会
設立時期	設立時期不明
会員数	20人以下
活動内容	人工肛門、及び人工膀胱増設をされた方を対象に、毎月第3水曜日に白河厚生総合病院で、装具勉強会や交流会、講演会を開催しております
問い合わせ先	担当者：白河厚生総合病院 医療福祉相談室 連絡先：0248-22-2211
メッセージ	・毎月、和やかな雰囲気、語り合ったり、共に学んだりして、互いに支え合いながら活動しております。何から相談したら良いかわからない、もう少し内容を詳しく聞いてみたい、などちょっとしたお問合せでも結構です。気兼ねなく問合せ先にご連絡ください。

がんの子どもを守る会
福島支部
(光の子を守る会)

がん種／概要	小児がん / 患者会・家族会
設立時期	1996年（平成8年）設立
会員数	50人以上
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット、市部会報発行 ・講演会 ・個別相談会 ・クリスマス会 ・子どもを亡くした家族の交流会 ・リレーフォーライフ ・病棟ピアサポート ・国際小児がんの日キャンペーン活動
問い合わせ先	担当者：福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科内 連絡先：024-547-1437（直通）
メッセージ	1996年、福島県立医科大学附属病院に患者・家族の会「光の子を守る会」が発足。40数名の会員で活動をしてきました。それまでの独自の活動に加え、本部の助言や支援を頂きながら、全国的な視野に立った活動を展開することを目的に、2010年11月「福島支部光の子を守る会」が設立され、活動しています。

雪うさぎ10西の会（造血幹細胞移植患者会）

がん種／概要	造血幹細胞移植患者／患者会・家族会
設立時期	2006年（平成18年）6月24日設立
会員数	50人以上
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の総会（5月）などを通し、患者・家族が、移植後の生活をよりよく送れるように学習と交流を深めています。 ・移植を受けた方とこれから受ける方との交流の場として、お茶と交流のサロン（愛称：雪うさぎの会）を毎月第3木曜日（14:00～15:30）に開催しています。
問い合わせ先	担当者：押部榮哉 連絡先：福島県立医科大学付属病院 未来棟 4階西病棟 TEL：024-547-1600 Email：yukiusagi10nishinokai@yahoo.co.jp
メッセージ	<p>雪うさぎ10西の会は、移植を受けられた方々、その家族、これから受けられる方々の支えになりたいという思いから発足した患者会です。</p> <p>2016年、創立10周年を迎え、これからも、「しっかりまなび（学習）、おおいに語り合い（交流）、明日への力に！」を活動の基本にすえ、患者一人ひとりが、生きる希望をつかみとる、そういう場への発展をめざしています。</p>



御薬園（会津若松市）

患者サロン



がん患者サロンは、がんのことを本音で語り合える交流の場です。県内には、がん診療連携拠点病院など病院で開催されているサロンや地域のサロンがあります。一人で悩まず参加してみませんか。同じ立場に立った人同士で話をしたり、泣いたり、笑ったりすることで、きっと気持ちが軽くなります。

県内で定期開催されている患者サロン一覧

名称	開催場所／開催日時	問い合わせ先	対象
まちなか・こころカフェ ★	福島市民活動サポートセンター（チェンバおおまち） 毎月第3水曜日開催 13:00～15:00	024-563-5665	全がん
ピアサポートサロンひかり ★	福島県立医科大学附属病院 がん相談支援センター 毎月第4金曜日開催 13:00～15:00	024-547-1088	全がん
郡山駅前がんピアサロン ★	郡山市市民交流プラザ会議室（ビックアイ7階） 毎月第2木曜日開催 13:00～15:00	024-563-5665	全がん
時間の会	太田西ノ内病院 がんサポート室 毎月一回開催 14:00	024-925-1188	全がん
がん患者・家族サロンほっと★ (注)	総合南東北病院 ・がん陽子線治療センター 第三水曜日 ・北棟3階ラウンジ ★ 第二か 第四金曜日	024-934-5564	全がん
がんピアサロン結い ★	白河厚生総合病院 職員食堂 毎月第4火曜日開催 14:00～16:00	0248-22-2211 (代表)	全がん
がんピアサロンあいづ ★	会津医療センター 緩和ケア病棟デイルーム 毎月第2火曜日開催 14:00～16:00	0242-75-2100	全がん
あづまっぺ	竹田総合病院 総合医療センター3階 からだ情報プラザ（患者図書室） 毎月第4火曜日開催 14:00	0242-29-9898	全がん
ピアサロン つきみが丘 ★	つきみが丘町民センター（柳津町） 毎月第4木曜日開催 14:00～16:00	024-563-5665	全がん
ピアサロン そよ風 ★	会津若松市生涯学習センター 会津稽古堂 毎月第4土曜日 14:00～16:00	024-563-5665	全がん
つなぐカフェ	会津中央病院 なんでも相談室 毎月第2土曜日 13:30	0242-25-1592	全がん
がんピアサロン 南相馬 ★	南相馬市立総合病院 多目的ホール 毎月第2水曜日開催 14:00～16:00	0244-22-3185	全がん

名称	開催場所／開催日時	問い合わせ先	対象
いわき市医療センターがんサロン	いわき市医療センターがんサロン室 毎月 第3火曜日開催	0246-26-3117	全がん
おしゃべりサロン	いわき市医療センター 毎月 第2水曜日 9:00～12:00	0246-26-3117	乳がん
乳がん患者サロン	福島労災病院 北棟2階 人間ドック控室 毎月開催 13:30	0246-45-2251	乳がん
ピアサポートサロンふわり ★	福島労災病院 北棟2階 人間ドック控室 奇数月 第3木曜日 13:00～15:00	0246-45-2251	全がん
ふくしま・けやきの会	福島テルサ 4階 「すりかみ」 原則第1日曜日 13:30～15:30	024-558-6980 (平日の 午後の通話可)	ご遺族

★は、がん患者やその家族、その他賛同する団体等が協同で活動している「特定非営利活動法人がんピアネット」が主催・共催するサロンとなります。

(注) 「がん患者・家族サロンほっと」は、北棟3階ラウンジの第二金曜日開催分のみ「特定非営利活動法人がんピアネットふくしま」が担当します。

その他詳細は「問い合わせ先」へご確認をお願いいたします。

患者支援団体

名称	住所	代表者 電話番号
特定非営利活動法人 福島県緩和ケア支援ネットワーク	〒960-8263 福島市方木田字吉ノ内40-3	鈴木 雅夫 024-558-6980
生と死を考える福島の会	〒960-8251 福島市北沢又字稻荷中川原1-15 (廣澤方)	長沢 浩 090-8922-9030
特定非営利活動法人 「がんピアネットふくしま」	〒960-0211 福島市飯坂町湯野字禿道19-2	鈴木 牧子 024-563-5665
認定特定非営利活動法人 バンダハウスを育てる会	〒960-8157 福島市蓬萊町8丁目15番地1	山本 佳子 024-548-3711
タオル帽子会あいづ	〒965-0037 会津若松市中央一丁目2-5 佐島屋印刷内	五十嵐 まりい 080-3198-2231
ジェネティック ハンド 遺伝性腫瘍当事者団体支援組織	(参加申し込み連絡先) 〒963-8501 郡山市向河原町159番1号 星総合病院 広報部	野水 整 024-983-5511

子どもへ病気を伝える

親が病気になった時、子どもへどう伝えるか、もしくは伝えないか誰もが悩みます。

子どもは、いつもの親と違う雰囲気を敏感に感じ取ります。その際、子どもを心配させまいと、親自身が子どもと向き合うことをためらってしまいますと、子どもは悪い想像を膨らませ、自分の気持ちが言えなくなり、お互いの気持ちのすれ違いを招くことがあります。

子どもの年齢や置かれている状況にもよりますが、あなたのお子さんが、あなたのことを心配している時には、病気のことをどう伝えるか考えてみましょう。

現在、このような悩みを抱えている親に対して、子どもと向き合うことをサポートする絵本もあります。また、インターネット上には、厚生労働省支援事業『Hope Tree（ホープツリー）』（<http://www.hope-tree.jp/>）もありますので参考にしてみると良いでしょう。一人で悩まないで、医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなどにも相談してみましょう。きっとあなたの悩みを和らげるヒントになるでしょう。



福島県内の各機関



協会けんぽ



鶴ヶ城（会津若松市）

名称	住所	電話番号
全国健康保険協会 福島支部	〒960-8546 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル	024-523-3915

※全国健康保険協会（協会けんぽ）の保険に加入されている方で、高額療養費制度や傷病手当金等の手続きをする方の窓口となります。

国民健康保険や組合管掌健康保険に加入されている方は、市町村窓口や健康保険組合へお問い合わせください。



年金事務所

名称	住所	電話番号
東北福島年金事務所	〒960-8567 福島市五老内町3-30	024-535-0141
郡山年金事務所	〒963-8545 郡山市桑野1-3-7	024-932-3434
白河年金事務所	〒961-8533 白河市郭内115-3	0248-27-4161
会津若松年金事務所	〒965-8516 会津若松市追手町5-16	0242-27-5321
相馬年金事務所	〒976-8510 相馬市中村字桜が丘69	0244-36-5172
平年金事務所	〒970-8501 いわき市平字童子町3-21	0246-23-5611

ハローワーク



名称	住所	電話番号
ハローワーク福島	〒960-8589 福島市狐塚17-40	024-534-4121
ハローワーク二本松	〒964-0906 二本松市若宮2-162-5	0243-23-0343
ハローワーク郡山	〒963-8609 郡山市方八町2-1-26	024-942-8609
ハローワーク須賀川	〒962-0865 須賀川市妙見121-1	0248-76-8609
ハローワーク白河	〒961-0074 白河市市郭内1-136 白河小峰城合同庁舎内	0248-24-1256
ハローワーク会津若松	〒965-0877 会津若松市西栄町2-23	0242-26-3333
ハローワーク喜多方	〒966-0853 喜多方市字千苜8374	0241-22-4111
ハローワーク南会津	〒967-0004 南会津郡南会津町田島字行司12	0241-62-1101
ハローワーク相馬	〒976-0042 相馬市中村1-12-1	0244-36-0211
ハローワーク相双	〒975-0032 南相馬市原町区桜井町1-127	0244-24-3531
ハローワーク富岡	〒979-1111 双葉郡富岡町大字小浜字大膳109-1	0240-22-3121
	※広野サテライト（職業相談・紹介業務） 〒979-0403 双葉郡広野町大字下浅見川字広長44番地3	0242-27-1220
ハローワークいわき	〒970-8026 いわき市平字堂根町4-11 いわき地方合同庁舎	0246-23-1421
ハローワーク小名浜	〒971-8111 いわき市小名浜大原字六反田65-3	0246-54-6666
ハローワーク勿来	〒974-8212 いわき市東田町1-28-3	0246-63-3171

福島県がんサポートブックに関するアンケートについて

【 FAX : 024-547-1089 】

福島県がん診療連携協議会 相談支援部会事務局

(福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター内)

今後のサポートブックの改定の参考とするため、以下の質問事項に回答の上、福島県がん診療連携協議会相談支援部会事務局(上記)へご送付ください。又、直接のお問い合わせは同じく事務局(Tel:024-547-1088)へお電話をお願いいたします。

1. ご記入者のことについてお答えください

- 患者 ご家族 その他()
- 男性 女性
- 20歳未満 20代 30代 40代 50代
- 60代 70代 80歳以上

2. この冊子入手されたのはいつですか

- がんの疑いがあるとされたとき
- がんの診断を受けたとき
- 治療中 転移・再発したとき
- その他()

3. この冊子をどこから入手されましたか

- 病院 図書館 がんサロン・患者会 ホームページ
- その他()

4. この冊子は役に立ちましたか

- 役に立った どちらともいえない
- 役に立たなかった(理由))

5. 役に立った項目、役に立たなかった項目は何ですか

- 役に立った項目()
- 役に立たなかった項目()

6. その他、冊子についてのご意見、ご感想、掲載してほしい内容等のご要望がございましたらご記入ください

[]

ご協力いただきありがとうございました。

がん相談支援センターへ

ご相談ください



・・・福島県版がん情報冊子・・・

発行日 令和 元年 12月 (第三版)

編 著 福島県がん診療連携協議会
相談支援部会
(広報ワーキンググループ)

発 行 福島県がん診療連携協議会
福島県